

お出かけの時にあると便利♪「待ちグッズ」について

病院や外食など出かける際には、事前に予約して予約時間の直前に到着するようにしたり、ギリギリまで車中で待機したり、少量のお菓子やおもちゃを持参したりなど、子どもに合わせて様々な工夫されていると思います。

子どもが待ち時間を過ごすためのものを「待ちグッズ」と私たちは呼んでいます。最近ではタブレット端末や携帯電話で、動画やゲームで過ごされることもありますが、電子端末以外でも過ごせると便利です。

そこで今回は、「待ちグッズ」として使いやすいものと、それを有効に使うためのコツを紹介します。

外出先で不安を感じやすい、そわそわと落ち着かない子どもの場合、「待ちグッズ」は普段からよく遊んでいるものの方が安心でき、落ち着きやすいです。一方で、遊び慣れているものではすぐに飽きてしまい、間が持たないことがあるかもしれません。そんなときは、普段は使わない、待ち時間限定で遊べる「特別なおもちゃ」を用意すると良いです。目新しい、子どもにとってスペシャルなものは、興味を持ちやすく、長く遊べるかもしれませんね。

子どもによっては、好きな刺激が感じられる方が落ち着く場合があります。100均でも、ぷちぷちした緩衝材のようなおもちゃ、ぐにゅぐにゅとした感触のおもちゃ、スイッチを押すときらきらと光るおもちゃなど、ちょっとした感覚・感触あそびができるものもあります。

インターネットで「待ちグッズ」「感触あそび」などで検索すると、待ちグッズの紹介や販売をされているページがあるので、参考になるかもしれません。

また、急遽待ち時間ができた時に、メモと筆記用具があると便利です。子どもが好きなものや知っているものを描き、その過程を見せながらクイズにすると楽しいですね。そして、完成したメモを子どもが手にして嬉しそうに眺めていることもあります。

ちょっとした待ち時間を、穏やかに待てたり、過ごしたりできるといいなと思います。



(つばさ保育士 奥田)